| 指定年度 | 指定日 | 指定番号 | 助成 | 指定を受けた 医療機器の名称 | 指定を受けた 予定される効能、効果又は性能 | 指定を受けた者の 氏名又は名称 | 製造販売承認を 受けた日 | 製造販売承認を 受けた販売名 | 一般的名称 | 製造販売承認を受けた 使用目的又は効果 | 製造販売承認を受けた者の名称 | 備考 | 助成期間(年) | <公開時列削除> 課内メモ | <公開時列 削除> 指定取消日 | <公開 時列削 除> 状況 |
|------|-----------|-----------|----|----------------------------|---|--------------------|-----------------|-------------------------------------|----------------------|--|------------------------|---|---------|-------------------------------|-----------------------|----------------------------------|
| H5 | H5.11.15 | (5具B)第1号 | | 植込型除細動器 | 心室性頻拍性不整脈による突然死 の危険性の高い症例 | 日本メドトロニック㈱ | H6.7.7 | 植込型PCD7217 | - | 心室性頻拍性不整脈による突然死の危険性の高い症例に対して 用いられる | 日本メドトロニック(株) | | | この承認情報の正確性が追跡不可能。たぶん供給停止 | | 承認 |
| Н5 | H5.11.15 | (5具B)第2号 | | 吸着型血液浄化器 | びの原味は心雨が延り 次の疾患で高度の重動障害等により 日常生活が著しい制限を受けている 重篤な患者 透析アミロイド症 | 鐘淵化学工業 ㈱ | H6.4.8 | リクセル | 吸着型血液浄化器 | | (株)力不力 | | | Res たOAVが名でLL | | 承認 |
| H7 | H7.4.1 | (7具A)第3号 | 0 | 磁気細胞分離システム | 同種骨髄移植、自家骨髄移植及び 自家末梢血幹細胞移植時における 造血幹細胞(CD34陽性細胞)の 分離採取 | バクスター(株) | H13.8.31 | アイソレックス300 | 磁気細胞分離システ ム | 悪性腫瘍患者の自家骨髄移植及び自家末梢血幹細胞移植にお ける造血幹細胞(CD34陽性細胞)の分離採取 | タカラバイオ(株) | 「アイソレックス300」は、現在、供給されていません。 | 3 | | | 承認 |
| H7 | H7.4.1 | (7具A)第4号 | 0 | リンパ球分離器具 | 同種骨髄移植時におけるTリンパ球の 除去 | 旭メディカル(株) | _ | - | - | - | _ | 指定取消(H11.5.27) | 2 | | 1999/5/27 | 取消 |
| Н8 | H8.4.1 | (8具A)第5号 | 0 | 疼痛緩和用セミディスポー ザブルボンプシステム | IN A | テルモ(株) | _ | - | - | - | | 指定取消(H13.8.24) | 3 | | 2001/8/24 | 取消 |
| H11 | H11.5.27 | (11具)第6号 | | 植込み型補助人工心臓 | | (第二ッショー | H21.11.18 | 櫃込み型補助人工 心腦HeartMate XVE LVAS | 櫃込み型補助人工 心臓 | 本左至補助人工心臓システムは、重症心不全患者で、従来の治療法(実物療法や既存の補助循環法)にも関わらず継続した代 療法(実物療法や既存の補助循環法)にも関わらず継続した代 債不全に陥っており、かつ、心移植以外には救命が困難と考えられ る症例に対する循環改善に使用される。 | 二プロ(4) | | | | | 承認 |
| H11 | H11.8.25 | (11具)第7号 | | 植込み型補助人工心臓 | 本システムは、不可逆性の末期的重症心不全患者で、心機能低下により 死亡の危険性が高くなっている患者 に、心移植までのブリッシ使用も含めた 長期的な血液循環維持を目的として 使用される。 | バクスター(株) | H13.8.31 | ノバコア左室補助人 工心臓システム | 植込み型補助人工 心臓システム | 本左室補助人工心臓システムは、重症心不全患者で、従来の治療法、実物療法や既存の補助循環法)にも関わらず継続した代 原子会に陥っており、かつ、心臓移植以外には救命が困難と考えられる症例に対する循環改善に使用される。 | | 指定取消(H25.5.14) 「ノバコア左室補助人工心臓システム」は、現在、供給されていません。 | | | 2013/5/14 | 承認 |
| H12 | H12.6.16 | (12具)第8号 | 0 | 磁気細胞分離システム | 悪性腫瘍、非腫瘍性疾患、先天性 疾患及び重症自己免疫疾患における 同種骨髄移植、同種末梢血幹細胞 移植、自家骨髄移植、自家末梢血 幹細胞移植及び臍帯血移植時にお ける道血幹細胞(CD34陽性細 胞)の分離採取 | 麒麟麦酒㈱ | - | - | - | - | - | 指定取消(H18.12.21) | 5 | | 2006/12/2 | 取消 |
| H13 | H13.4.23 | (13具)第9号 | 0 | 吸着型血液浄化器 | | ㈱日本抗体研究所 | H20.9.2 | アダカラム | 血球細胞除去用浄 化器 | 本品は、栄養療法及び既存の薬物治療が無効又は適用できない、大腸の病変に起因する明らかな臨床症状が残る中等症から重症の活動期クローン病患者の緩解促進に使用する | (株)JIMRO | | 3 | 通知上は(12具)第9号になっている | | 承認 |
| H13 | H13.8.1 | (13具)第10号 | | 持続投与用植込み型ブログラマブルボンブ | 脳性 (小児) 麻痺、脊髄血管障害、頸部脊椎症、後縦靱帯骨化症、 多発性硬化症、脊髄小脳変性症 (遺伝性痙性対麻痺) 又は外傷後 遺症(脊髄損傷又は頭部外傷) に よる重度の痙性麻痺 | 日本メドトロニック(株) | H17.3.25 | シンクロメッドELポンブ | プログラム式植込み型 輸液ポンプ | 本品は脳脊髄疾患に由来する重度の瘤性麻痺(既存治療で効果不十分な場合に限る)患者を対象に、パクロフェン酸注を翻腔 内投与するために使用する薬液注入用ポンプである。 | 日本メドトロニック(株) | | | | | 承認 |
| H17 | H17.10.14 | (17機)第11号 | | 血球細胞除去用浄化器 | 難治性網膜ぶどう膜炎を有するペー チェット病患者の眼発作抑制 | (株)JIMRO | _ | - | - | - | _ | | | | | |
| H17 | H17.12.9 | (17機)第12号 | | 中心循環系血管内塞栓促進用補綴材 | 本品は外科的手術(グリッピング術など)又は基柱コイル単独のコイル基柱 がでは治療困難な未破裂脳動脈瘤 (最大程が10mm以上)を有する 患者のうち、ワイドネック型(ネック部が 4mm以上又はドーム/ネック比が2 未満に定義)脳動脈瘤を有する患者 に、コイル基柱術時のコイル塊の穀動 脈への突出・逸脱を防ぐ目的のために 使用される。 | | H22.1.8 | コッドマン エンタープラ イズ VRD | 中心循環系血管内 塞栓促進用補綴材 | 本品はコイル塞栓術時のコイル塊の親動脈への突出・逸脱を防ぐた めに使用される。 対象患者:外科的手術 (クリッピング術など) 又は塞栓コイル単 独のコイル塞栓術では治療困難なコイドネック型 (ネック部が4mm 以上又はドーム/ネック比が2末瀬) 脳動脈痛のうち、2.5~4mm 径の親動脈に最大径7mm以上の未破裂脳動脈瘤を有する患者 | ジョンソン・エンド・ジョ ンソン(株) | | | H26.11.14デリバリーシステム追加の 一変 | | 承認 |

| 指定年度 | 指定日 | 指定番号 | 助成 | 指定を受けた 医療機器の名称 | 指定を受けた 予定される効能、効果又は性能 | 指定を受けた者の 氏名又は名称 | 製造販売承認を 受けた日 | 製造販売承認を 受けた販売名 | 一般的名称 | 製造販売承認を受けた 使用目的又は効果 | 製造販売承認を 受けた者の名称 | 備考 | 助成期間(年) | < 公開時列削除> 課内メモ | <公開時列 削除> 指定取消日 | 時列削除~ |
|------|-----------|-----------|----|--------------------|--|-------------------------|-----------------|---|--------------------|--|------------------------|--|---------|--|-----------------------|-------|
| H19 | H19.7.6 | (19機)第13号 | 0 | 植込み型補助人工心臓 システム | 心臓移植適格のある患者で、従来の 内料的治療法(薬物療法や1ABPの 補助循環法)によっても回復する見 込みがな、かつ、心機能の低下により 死亡の危険が切迫している、拡張型 心筋症や虚血性心疾患等を有する 不可逆的末期心不全患者の血液循 環を改善維持すること。 | | H22.12.8 | 植込み型補助人工 心臓EVAHEART | 植込み型補助人工 心臓システム | 本品は、心臓移植適応の重症心不全患者で、薬物療法や体外式補助、工心臓などの補助循環法によっても継続ルた代償不全に陥っており、かつ、心臓移植以外には救命が困難と考えられる症例に対して、心臓移植までの循環改善に使用される。 | (映サンメディカル技 術研究所 | | 2 | H24.9.7アラームの変更。小型軽量型コントローラの追加等の一変。 H25.8.7カニューレの変更の一変。 H26.6.3の自動復帰機構が作動した際のアラームの設定の変更を目的とした一変。 | | 承認 |
| H20 | H20.6.11 | (20機)第14号 | | 中心循環系血管内塞栓促進用補綴材 | 本品は外科的手術 (クリッピング術など) 又は基柱コイル単独のコイル基性 がては治療短期性末極を影動脈瘤 (最大径が十辺/メートル以上)を有 する患者のうち、ワイドネック型 (ネック 部が4ミリメートル以上)又はドーム/ ネック比が二末海(主義) 服動脈瘤 を有する患者に、コイル悪性(新時のコ イル塊の親動脈への突出・逸脱を防ぐ 目的のために使用される。 | | - | - | - | | - | 指定取消(H23.12.9) | | | 2011/12/9 | 取消 |
| H20 | H20.12.15 | (20機)第16号 | 0 | PDT半導体レーザ | 本医療機器は、光感受性物質タラボ ルフィンナトリウム製剤とともに使用し、 悪性神経膠腫の治療に用いる。 | パナソニック四国エレクトロ ニクス(株) | _ | - | _ | - | = | 指定取消(H25.9.19) 指定を受けた予定される使用目的、 効能又は効果の変更に伴う、(25機) 第24号への指定付替え品目。 | 1 | | 2013/9/19 | 取消 |
| H20 | H20.12.15 | (20機)第17号 | 0 | 植込み型補助人工心臓 システム | 心臓移植希望者 (レシビエント) 適 応基準に準する重症末期心不全患 者で、心機能の低下により死亡の危 険性が切迫している患者に、心移植 までのブリッシ使用を目的として使用す る。 | センチュリーメディカル(株) | H25.11.22 | Jarvik2000 植込み 型補助人工心臓シス テム | | 本システムは、心臓移植適応の重症心不全患者で、薬物療法や 体外式補助人工心臓などの補助循環法によっても継続ルた代償 不全に陥っており、かつ、心臓移植以外には救命が困難と考えられ る症例に対して、心臓移植までの循環改善に使用される。 | センチュリーメディカル (株) | | 2 | | | 承認 |
| H20 | H21.3.11 | (21機)第18号 | | 植込み型補助人工心臓 システム | 本品は、末期的心不全患者で心臓 移植が必要な症例に対して循環改善 を目的として使用される埋込み型左 心補助人工心臓である。 | テルモ(株) | H22.12.8 | DuraHeart左心補助人工心臓システム | 植込み型補助 人工心臓システム | 本品は、心臓移植適応の重症心不全患者で、薬物療法や体外 式補助人工心臓などの補助循環法によっても継続した代償不全に 陥っており、かつ、心臓移植以外には対命が困難と考えられる症例 に対して、心臓移植までの循環改善に使用される。 | テルモ(株) | | | H24.11.7本体装置内のコンプレッサ の変更、流量設定の選択肢の一部 削除等の一変。 H25.6.287ロテクトカバー全体に非 導電性塗装を施し、スピーカー用の穴 径を拡大する一変。 H25.7.18経皮ケーブルのストレインリ リーアを延長する一変申請。 | | 承認 |
| H21 | H21.7.7 | (21機)第19号 | 0 | 血球細胞除去用浄化器 | 膿疱性乾癬患者の臨床症状の改善 | (株)JIMRO | H24.6.25 | アダカラム | 血球細胞除去用浄 | 本品は、全身治療における既存内服療法が無効又は適用できない、中等症以上の膿疱性乾癬の臨床症状の改善に使用する | (株)JIMRO | | 3 | | | 承認 |
| H21 | H21.10.28 | (21機)第20号 | 0 | 気管支充填材 | 外科手術が困難な続発性難治性気 胸、気管支瘻等の治療 | 原田産業㈱ | H25.1.28 | 気管支充填材 EWS | 気管支用充填材 | | 原田産業㈱ | | 3 | H29.3.15気管支充填剤の原材料 変更及び製造方法の変更の一変 | | 承認 |
| H21 | H22.3.19 | (22機)第21号 | 0 | 胎児シャント | 本品は内腔を有するシャントチューブを 船児の胸腔から母体の羊水腔まで通 ルで経電し、胎児胸腔に門部した胸 水を羊水腔へ持続的に排出することを 目的とする。これにより胎児水腫を改 識し、肺低形成を予防し、妊娠期間 を延長させる。 | (株)八光 | H23.12.20 | 胎児シャント | 胎児胸水排出用シャ ント | | ㈱八光 | | 1 | | | 承認 |
| H23 | H23.6.17 | (23機)第23号 | 0 | 体外設置式補助人工心臓ボンブ | 本品は、従来の投棄治療及び補助 循環では症状が改善しないり児(株 表面積1.5m2以下で体重2kg以上 60kg以下)の重症心不全患者に対 して、心臓移植までの循環改善又は 心機能の回復を目的に使用される。 | (映力ルディオ | H27.6.18 | EXCOR Pediatric 小児用体外設置式 補助人工心臓システム | 式補助人工心臓ポン | 本品は、従来の投業治療、外科手術及び補助循環では症状の改 満が見込めないり児の重症心不全患者であって、本品による治療 が当該患者にとって最善であると判断された患者に対して、心移植 に達するまで又は心機能が回復するまでの循環改善を目的に使用 される。 | ㈱カルディオ | | 3 | | | 承認 |
| H25 | H25.9.19 | (25機)第24号 | | PDT半導体レーザ | 本医療機器は、光感受性物質タラボ ルフィンナトリウム製剤とともに使用し、 悪性脳腫瘍の治療に用いる。 | パナソニック ヘルスケア(株) | H25.9.20 | PDレーザ BT | PDT半導体レーザ | 本品は、光感受性物質タラボルフィンナトリウムを用いた光線力学 的療法(Photodynamic Therapy: PDT)に使用することを 目的としたレーザ装置である。 対象疾患:原発性悪性脳腫瘍(腫瘍摘出手術を施行する場合 に限る) | Meiji Seikaファルマ (検) | 指定を受けた予定される使用目的、 効能又は効果の変更に伴う、(20機) 第16号からの指定付替え品目。 なお、(20機)第16号に対して1年間 助成金を交付しています。 | | 旧製販:パナソニックヘルスケア株 | | 承認 |

| 指定年度 | 指定日 | 指定番号 | 助成 | 指定を受けた 医療機器の名称 | 指定を受けた 予定される効能、効果又は性能 | 指定を受けた者の 氏名又は名称 | 製造販売承認を 受けた日 | 製造販売承認を 受けた販売名 | 一般的名称 | 製造販売承認を受けた 使用目的又は効果 | 製造販売承認を受けた者の名称 | 備考 | 助成期間(年) | <公開時列削除> 課内メモ | <公開時列 削除> 指定取消日 | < 公開 時列削 除> 状況 |
|------|-----------|-----------|----|---|--|----------------------------|-----------------|---------------------------|-------------------------------|--|------------------------|----|---------|-------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| H26 | H26.9.17 | (26機)第25号 | | PDT半導体レーザ | 化学放射線治療法又は放射線療法 後の局所遺残再発食道癌 | バナソニック ヘルスケア(株) | H27.5.26 | ①PDレーザ ②EC-PDTプローブ | | 本品は下記対象疾患に対する光線力学的療法に使用することを 目的としたレーザ装置であり、以下の医薬品とあわせて使用する。 (併用医薬品) 一般名: ララボルフィナトリウム 販売名: 注射用レザフィリン100mg (対象疾患) 化学放射線療法又は放射線療法後の局所遺残再発食道癌 | Meiji Seikaファルマ (株) | | | 旧製販:バナソニックヘルスケア株 | | 承認 |
| H26 | H26.12.19 | (26機)第26号 | | HAL医療用 下肢タイプ | 緩徐進行性あるいは慢性進行性の神経・筋難病疾患患者を対象として、定期的、間欠的、治療的に装着し筋萎縮を助けることで、筋萎縮と筋力低下の進行を抑制する。 | CYBERDYNE(株) | H27.11.25 | HAL医療用下肢タイプ | 生体信号反応式運 動機能改善装置 | 本品は緩徐進行性の神経・筋疾患患者を対象として、本品を間 欠的に装着し、生体電位信号に基づき下肢の動きを助けつつ歩行 運動を繰り返すことで、歩行機能を改善することを目的として使用 する。 | CYBERDYNE(株) | | | | | 承認 |
| H26 | H26.12.19 | (26機)第27号 | | 輪部支持型ハードコンタク トレンズCS-100 | 重症多形溶出性紅斑 (スティーブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死症) の眼後遺症の視力補正及び症状緩和 | ㈱サンコンタクトレンズ | H28.2.15 | サンコン Kyoto-CS | 輪部支持型角膜形 状異常眼用コンタクト レンズ | スティーヴンス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症の眼後遺症において既存の眼鏡、コンタクトレンズを用いても十分な視力が得られない患者に対する視力補正及び自覚症状の緩和 | | | | | | 承認 |
| H28 | H28.9.2 | (28機)第28号 | 0 | チタンブリッジ | 内転型痙攣性発声障害における症 状の改善 | ノーベルファーマ(株) | H29.12.15 | チタンブリッジ | 甲状軟骨固定用器具 | 内転型痙攣性発声障害における症状の改善 | ノーベルファーマ(株) | | 2 | | | 承認 |
| H29 | H29.7.10 | (29機)第29号 | | Extracorporeal Photopheresis System | ステロイド抵抗性又は不耐容の慢性 移植片対宿主病に対する体外フォト フェレーシス(ECP)治療として用い る。 | ヴォーバル・テクノロジーズ (株) | R2.12.25 | Cellex ECP システム | 体外フォトフェレーシス 装置 | ステロイド抵抗性又は不耐容の慢性移植片対宿主病に対する体 外フォトフェレーシス(ECP)治療を目的として用いる。 | ヴォーパル・テクノロ ジーズ(株) | | | | | |
| H30 | H30.10.19 | (30機)第30号 | | PDA 閉鎖セット II AS | 以下の全てを満たす動脈管開存症に 適用し、経皮的に動脈管を閉鎖する ために使用する。 ・動脈管の直径が4mm以下であること。 ・動脈管の長さが3mm以上であるこ | | - | - | - | - | - | | | | | |
| R2 | R2.12.17 | (R2機)第31号 | | Harmony経力テーテル肺 動脈弁システム | C- (本品は、右室流出路への外科的修復 (パッチ修復術) 又は経カテーテル 的インターペンション (パルーン弁形成術) の既往があり、肺動脈纤症強が 臨床上必要とされる重度肺動脈纤症洗療の患者に使用する。右室肺動脈 (RV-PA) コンテュイットもしくは人工弁が留置されている患者は本品の対象とはならない。 | 日本メドトロニック(株) | R3.8.23 | Harmony経カテー テル肺動脈弁システム | | 本品は、右室流出路への外科的修復又は経力デーテル的インター ベンミン (パルーン弁形成術) の既在があり、肺動脈弁置強が 臨床上必要とされる重度肺動脈弁逆流症の患者に使用する。た だし、外科的手術のリスが活ん、本品による治療が最適であるを計 断された患者を対象とする。なお、右室肺動脈コンデュイットもしくは 人工弁が留置されている患者は本品の対象とはならない。 | 日本メドトロニック㈱ | | | | | |
| R3 | R3.8.26 | (R3機)第32号 | | トレミキシン | 特発性肺線維症の急性増悪症例に 対する病態改善 | 東レ俄 | R5.12.21 | ルキシン | | 本品は、以下の患者を対象として病態の改善を図るものである。 (1) エンドトキシン血能に伴う重症病態あるいはグラム陰性菌感染 症によると思われる重症病態の患者 重症病態とは、通例、次の条件の2つ以上を満たすものを指す。 ・体温 > 38℃ または < 36℃ ・心拍数 > 90回/分 ・呼吸数 > 20回/分 または PaCO2 < 4.3 kPa (32 torr) ・白血球数 > 12000 /mm3、< 4000 /mm3 または10%以 上の桿状核好中球を含む場合 (2) 既存治療が要効しない特発性肺線維症の急性増悪の患者 | 東レ俄 | | | | | |
| R5 | R5.12.22 | (R5機)第33号 | 0 | ホウ素中性子捕捉療法 用中性子照射装置 | 本装置は、ホウ素薬剤であるボロファラン (10B) とともに使用し、切除不能な皮膚血管肉腫の治療に用いる。 | (#)CICS | - | _ | | | _ | | 2 | | | |
| R5 | R6.3.27 | (R6機)第34号 | | 冷凍手術器 Visual - ICE | 本装置は、生体組織を凍結・壊死させる冷凍手術器である。適応症は結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫である。 | ポストン・サイエンティフィッ クジャパン(棋) | - | _ | | | - | | | | | |

| 指定年度 | 指定日 | 指定番号 | 助成 | 指定を受けた 医療機器の名称 | 指定を受けた 予定される効能、効果又は性能 | 指定を受けた者の 氏名又は名称 | 製造販売承認を 受けた日 | 製造販売承認を 受けた販売名 | 一般的名称 | 製造販売承認を受けた 使用目的又は効果 | 製造販売承認を 受けた者の名称 | 備考 | 助成期間(年) | < 公開時列削除> 課内メモ | <公開時列 削除> 指定取消日 | < 公開 時列削 除> 状況 |
|------------|---------------------|-----------|----|---------------------------|---|-------------------------------|-----------------|-------------------|-------|------------------------|--------------------|----------------|---------|-----------------------------|-----------------------|-----------------------|
| R6 | R6.12.9 | (R6機)第35号 | | NeuCure 2. BNCT 線量計算プロ | 1. 本システムは、切除不能な局所進行又は局所再発の強勢的態 及び 有深は局所再発の健野部 及び 再発影性神経影腫。対するかり柔中 性子掃捉療法に使用することを目的 とした中性子照射装置であり、以下の 医環島と組み合わせで使用する。 (併用医薬品) 一般名: ボロアラン(¹⁰ B) 膨売名: ステボロニンの高流静注 //ッグ 9000mg/300 mL 2. 本プログラムは、輪郭情報及び照 射条件を基にか、素中性子捕捉療法 により与えられる縁量分布を計算し、 切除不能な局所進行又は局所経事 計画の決定を支援するプログラムであ り、以下の医薬品と組み合わせて使 用する。 (併用医薬品) 原売名: ボロアラン(¹⁰ B) 販売名: ステボロニン点流滴静注/「ッグ 9000 mg/300 mL | 社 | | | | | | | | | | |
| R6 | R6.12.9 | (R6機)第36号 | | NeuCure 2. BNCT 線量計算プロ | 1. 本システムは、切除不能な局所進行又は局所再発の誘問部態、及び 有子以は局所再発の誘問部態、及び 再発制機種に対するが入事・位子 押 発酵機種に使用することを目的とした中 性子照射装置であり、以下の医薬品 と組み合わせて使用する。 (併用医薬品) 一般名: ボロアラン (**) 販売名: ステれロニシの点瀬静注 バッグ 9000mg/300 mL 2. 本プログラムは、輪郭情報及び照 新条件を基にが東中性子排股療法 により与えられる線量分布を計算し、 切除不能な局所進行又は局所再発 の距野部態及口管発制機能に対する 水ウ薬中性子排股療法治療計画の 決定を支援するプログロを別は、以下 の医薬品と組み合わせて使用する。 (併用医薬品) ・ 使用を素は ・ (併用医薬品) ・ 原本名: ボロアラン (108) ・ 1000 mg/300 mL | 社 | - | _ | | | - | | | | | |
| ①R7 ②R7 | ①R7.9.3 ②R7.10.1 | (R7機)第37号 | | 義眼台 Eyestage PE | 本品は、不足している眼窩内容積を 補うために用いる。 | ①京セラ株式会社 ②京セラメディカル株式会 社 | | | | | | ①指定取消(R7.10.1) | | | | |